

薬師岳 & 赤木沢

～ 人生初登山 ～

日時 : 10月12日(土) ~ 10月14日(日)

メンバー(敬称省略) :

大塚賢一、石野美輝朗、木倉博、田代恵子、岸本洋介、大本誠一

この計画が決まったのは10月2日のこと。
私はこれまで少しずつ山装備を揃えていた。
そして、遂に山デビューである。

12日

折立～ベースキャンプ

午前1時、に姫路を出て、各所で仲間と合流、食事を済ませた。午前8時、折立より登山を開始した。天気は快晴。気温は少し涼しいくらい。私も山も絶好のコンディションといったところであろうか。有峰湖を背にまずはベースキャンプとなる太郎平のキャンプ場へ向かう。背負うザックには14本もビールが入っている・・・(汗)。

高度を増すたびにいろいろと姿を変えていく山の草木。私の体も姿を変えるように肩、足と痛くなってきた。途中2,3度の休憩を取りながら午前12時前にベースキャンプへ到着した。すぐにテントの設営に入る。午後は薬師岳を目指す。

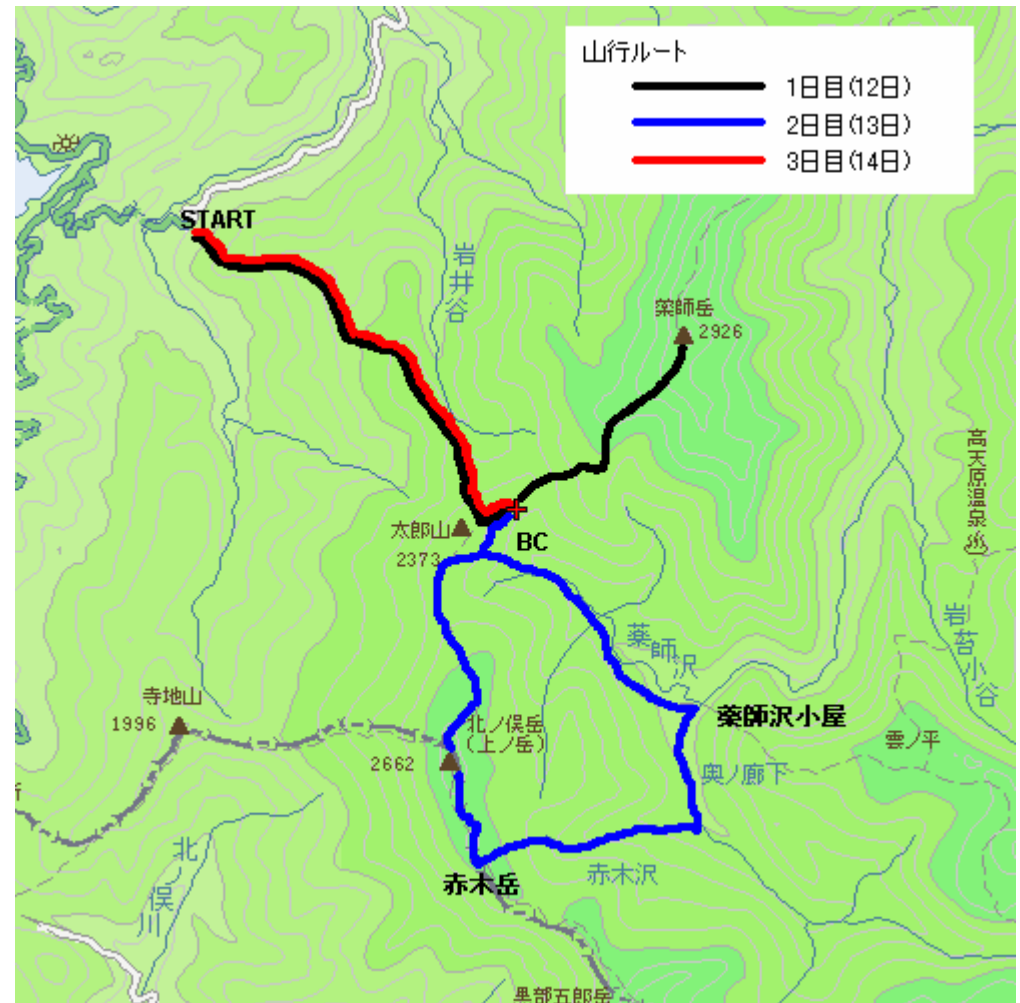
ベースキャンプ～薬師岳

「ガンガン行け！」と言われて上った薬師岳。サブザック(行動食、カメラ、カップ)のみ持参した。天気は良い、ザックは軽い、自然にハイテンションになって一気に登りきった。途中走ったりして1時間半余りで頂上に到着した。頂上は見渡す限りの山々...最高!でも・・・少し寒かった(カップ着用)。

BCへの下山は大塚さんと石野さんが先頭で飛ぶように降りていく。速い!ついていけるので精一杯。35分というものすごいスピードで下っていきました。

夜

もちろん山デビューの私にはこれも初体験。立てたテントの中で初めて作るジフィーズを食べ、苦労して持ってあがってきたビール(総計約40本)を飲み、大自然の中での会話、すばらしい星空。文句無しである。



太郎平小屋(BC 近く)より薬師岳



薬師岳頂上より

13日

ベースキャンプ～薬師沢小屋

朝 7 時頃、沢道具一式、行動食、カメラ、コッフェル等をサブザックに入れてベースキャンプを出発。朝早い為か木の山道は霜でツルツル状態。山道近くの池は凍っていた。しかし、辺りの木々に囲まれた幻想的な風景は行った者しか味わえないすばらしいものだった。午前 8 時半ごろ薬師沢小屋到着。黒部上ノ廊下、奥ノ廊下、薬師沢の分岐点である。これから沢装備に変更して奥ノ廊下～赤木沢を上っていく。

奥ノ廊下～赤木沢～赤木岳

言うまでもないが、これまた初体験の沢登りである。小さなころからこういった川遊びは大好きだった。まさか、こんな形で遊べるとは...気分は子供状態だった。しかし、寒い。気温は 10 度いっていただろうか。水も凍るように冷たい。

私の服装は上に ZEROPOINT のアンダー(長)、ランシャツ(長)、カップ、下には ZEROPOINT のアンダー(長)、ランパン(長)で出発した。寒さを忘れるようにどんどん登っていく。奥ノ廊下を過ぎるころには太陽が顔を出し、暖かくなった。赤木沢に入ってから、コンスタントに 5.6m の滝が現れた。しかし、危険と思われるところはなかったように感じた。寒い川には無駄に入らないように、岩伝いにトラバースしたり、暑くなるとシャワークライミングしたりと非常に楽しいひと時を過ごした。

大滝で一服して、沢の終わり付近で装備変更を行い、赤木岳を目指した。途中、沢の源流を見ることができた。一面が藻で囲まれ、下から湧き出る神秘的な情景に足を止め、見入ってしまった。赤木岳へは沢の岩場から一転、草原を直登した。13 時過ぎ赤木岳頂上についた。



トラバース！落ちたら寒いぞ～



赤木沢にて

赤木岳～北ノ俣岳～ベースキャンプ

沢も終わり、少し寂しい気分ではあったが、赤木沢～北ノ俣岳へ登って吃驚、一面の雲海。その壮大な景色は圧巻。そういえば、今回初の雲を見た...と思っていたら、ベースキャンプへ戻る途中、ガスが出てきた。もう、言うのもくたびれてきたが、ガスも初体験。少しの寒い、さらに視界が悪くなる。太郎小屋付近では晴れたが、もし、こんな状態でずっと登ったり下ったりする時のことを考えると、いい気分でないことは確かだ。15 時過ぎベースキャンプへ到着。ビールで乾杯(昼間っから酒)！あとは寝て下山のみだ。



大滝



北ノ俣岳より雲海

14日

下山

ビールを飲み干して軽くなったザックを背負い、下山。全員がケガも無く下山できたことに感謝！でも、最後の最後に車の中で気分が悪くなってしまった...

また来るで～！Thanks！北アルプス！

感想

最高の登山&沢登りでした！が勉強するところがたくさんあった。持ち物で不足しているもの、足りないものもあった。技術不足もあった。これらの教訓を肝に銘じて、これからの山に活かして生きたい。